

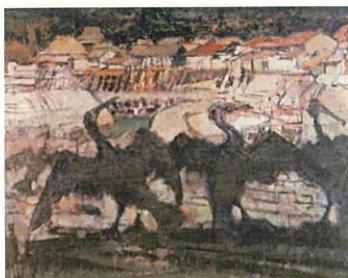
須田国太郎

写実と真理の思索

京都洋画壇を代表する巨匠、須田国太郎（1891-1961）には、美学者・美術史家としての側面もありました。画家としては遅咲きだった彼は、世間からはむしろ学者と見られていた程です。少年時代から画家を志し、画家になるための勉強の一環として京都帝国大学哲学科で美学美術史を専攻した彼は、古今東西の美術を視野に入れながら、「写実」をめぐる思索を深め、美学史と美術史への理解を通じて、以後の自身の進むべき道を見定めたといえます。今回のキュレトリアルスタディーズでは、美と真理についての彼の思想の一端を振り返りながら、そのユニークな画業の流れを当館コレクションによりご覧いただきます。

本展のみどころ

- 1 当館所蔵の須田国太郎の油彩画 32 点全作品を一挙まとめて公開！全作品を展示するのは初の機会となります。 ※会期中に一部展示替えがあります
- 2 須田国太郎の学生時代から円熟期（晩期）までの流れを本展によりたどることができます。
- 3 古建築を描いた代表作《唐招提寺礼堂》《校倉（甲）》《校倉（乙）》や、動物を描いた《海亀》《鶉》《動物園》など、各テーマの代表作が並びます。



《鶉》1952年（通期展示）





《唐招提寺礼堂》1933年（通期展示）



《バラとアザミ》1951年（通期展示）

いずれも須田国太郎
京都国立近代美術館蔵

開催概要

- 会期 2020年5月13日（水）-7月19日（日） 10月8日（木）-12月20日（日）
※会期中に一部展示替えがあります 前期：10月8日-11月23日/後期：11月25日-12月20日
- 会場 京都国立近代美術館 4F コレクション・ギャラリー
- 開館時間 午前9時30分-午後5時 ただし金・土曜日は午後8時まで開館（*10月10日（土）を除く）
*入館は各閉館時間の30分前まで
- 休館日 月曜日、11月24日（火）
*ただし11月23日（月・祝）は開館
- 観覧料 一般：430円（220円）、大学生：130円（70円）
※（ ）内は20名以上の団体および夜間開館時の夜間割引（金・土曜日 午後5時以降）
※ 高校生以下・18歳未満および65歳以上、心身に障がいのある方とその付添者1名は無料*。
*入館の際に証明できるものをご提示ください。
※ 本料金でコレクション展もご覧いただけます。
※ 国立美術館キャンパスメンバーズは、学生証または職員証の提示により、無料でご覧いただけます。
- 主催 京都国立近代美術館、一般財団法人きょうと視覚文化振興財団
- HP・SNS <https://www.momak.go.jp/>  

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間、休館日は変更になる場合があります。
ご来館前にホームページなどで最新情報をご確認ください。
*関連イベントについては、そのつど当館ホームページなどでご案内いたします。

お問合せ

京都国立近代美術館 事業係
TEL 075-761-4115
FAX 075-771-5792
E-mail jigyoku@ma7.momak.go.jp